

吸収のよいリン酸肥料

収穫の期待にこたえたい。

**アカツキ**  
0-12-8

着色・食味  
向上の  
手助けに

詳しくは弘果物流まで



弘果りんご止市の様子

## 令和4年度りんご止市

### 輸出需要含め 高値傾向で締めくくります

弘果及び津軽りんご市場において4月28日、令和4年度りんごの止市が行われました。

4年度りんごは、豪雨被害や天候の影響により、「サンふじ」を中心に、ツル割れ等の下位等級品の割合が多い状況でした。販売面では、上実から下位等級品まで、平均単価では高水準で推移した前年を下回りましたが、国内及び海外からの引き合いは強く、総体的に順調な相場で取引されました。

#### 弘果

午前8時より行われた止市には、買参人約200人が来場しました。

しました。当日は1万756箱（前年比90.2%）が入荷し、「ふじ」の上実が高値

となり、総じて下位等級品の割合が多い状況でした。しかし、生産者の努力で食味良く仕上がった結果、円安による輸出需要の高まりもあり引き合いが強くなり、5年度に向けて「開花が早い状況です。生産者には防霜対策を徹底してもらいたい」と話していました。

令和4年度産の取扱数量は483万2886箱（同107.5%）、平均単価は4593円（同86.0%）、取扱金額は221億9617万円（同92.4%）となりました。

1万800円（同66.7%）、中値9720円（同100.0%）、安値8640円（同100.0%）、小玉が高値9720円（同112.5%）、中値8640円（同114.3%）、安値8100円（同115.4%）での取引となりました。

会田一男専務は4年度産の販売について「8月の降水量が多かった影響から、平年を上回る大玉傾向で、品質面では薬剤散布の遅れによる病害虫の発生や、サンふじのツル割れが多く見られ、総じて下位等級品の割合が多い状況でした。しかし、生産者の努力で食味良く仕上がった結果、円安による輸出需要の高まりもあり引き合いが強くなり、5年度に向けて「開花が早い状況です。生産者には防霜対策を徹底してもらいたい」と話していました。



津軽りんご市場りんご止市の様子

#### 津軽りんご市場

午前10時より行われた止市には、買参人約80人が来場しました。当日は1万727箱（前年比99.2%）が入荷し、「ふじ」の上実が高値1万1880円（同73.3%）、中値1万2600円（同105.6%）、安値8640円（同100.0%）、小玉が高値1万800円（同100.0%）、中値9720円（同128.6%）、安値8640円（同123.1%）での取引となりました。

対馬智範取締役営業部長は今回の止市の市況について「ふじ」上実の高値だけを見ると、前年産をかなり下回って見えますが、全体的に引き合いが強く、高値傾向の取引となりました」と話し、4年度産の取引を振り返り「8月の長雨や曇天の影響で下位等級品が多

### 創立三十周年の節目を祝う 弘果りんご連絡協議会婦人部

弘果りんご連絡協議会婦人部（清藤富士子部長）の創立30周年を記念して4月24日、弘前市フォルトーナにおいて、会員関係者約70名が出席し、式典が開催されました。

当部は、弘果りんご連絡協議会が創立されたことに端を発し、その後

りんご栽培の拡充を図る上で、しだいに女性の就業及び技術習得と向上が求められるようになり、女性ならではの意見交換の場、親睦の場を主とした組織の立ち上げの必要性が高まりました。そして、平成4年

3月に「女性としての教養を高め、農業経営の安定と所得向上を図り、地域の交流と親睦を深め、一層の創意工夫に励む」という目的を掲げ設立されました。現在、80名の部員が活動を



功績を讃え表彰された歴代部長

（第8代）島内恵子さん 清藤富士子部長 水木美智子さん（第7代）

行っています。式典では清藤部長が「創立30周年の節目を迎え、これまで当部の発展に寄与された皆様に敬意を表するとともに、今後とも部員一致団結して活動を盛り上げて、更なる飛躍につなげたいと決意を新たにしています」と挨拶。その後、歴代部長に感謝状が贈呈され、会場は華やかな祝賀ムードに包まれていました。



挨拶をする清藤部長

傾向でしたが、生産者の努力で食味良く仕上がりました。円安や米国の不作の影響もあり、台湾をはじめとする輸出の引き合いが強く、産地相場を引上げた要因となりました」と総括しました。

令和4年度産の取扱数量は236万7141箱（同106.5%）、平均単価は4597円（同86.0%）、取扱金額は108億8097万円（同91.6%）となりました。

### 生産者団体定時総会

弘果グループ関係団体（9団体）では、3月下旬から5月上旬にかけて、定時総会を行いました。

各団体の総会では、令和4年度の事業報告と収支決算、今年度の事業計画案、予算案がそれぞれ審議、可決され、令和5年度のスローガンを読み上げ、満場の拍手を以て採択されました。

また下記1団体では、任期満了に伴う役員改選が行われました。

青森オリジナルズ（生産連絡協議会）  
会長 渋谷充（新任）  
副会長 濱山浩文、雉子森出荷組合（新任）、野呂勇、上福元生産組合（新任）



渋谷充新会長

### りんごトレサビリティ

2023年度（令和5年度）りんごトレサビの書類が5月中旬より発送予定となっております。

本年のトレサビ情報をいち早く確認いただくため、お手元に届き次第早急に開封し、同封書類の2確認をお願いいたします。

令和5年度（2023年度）りんごトレサビリティのご案内

青森りんごの安全・安心のために

最新情報をチェック！  
農業一覽  
令和5年度（2023年度）版  
配布前に詳しく知ろう！  
農業の「有効成分の総回数」  
輸出人ごとの情報アップ！  
輸出TS防除ガイドライン

簡単で便利！  
Web申請のすすめ

令和5年7月20日～10月31日

受付時間：午前8時～午後5時

TEL.0172-29-4184(代表)

# 「農」の「業」を継ぐ

## 期待の後継者



【園地所在地】 平川市唐竹  
【作付状況】 りんご、シャインマスカット10ア

佐藤

純弥さん(38)

家業である「農業」に希望を見出し、夢に向け努力する期待の後継者を紹介します。

【就農年】 2020年  
【きっかけ】 りんご農家に生まれる育ち、学生時代は家業を継ぐという意識が希薄で、手伝いは多少していましたが、親からも家業について何も言われませんでした。高校卒業後は、県外で数年働いた後青森に戻り、電気工事関連の仕事に就いていました。仕事が休みの日を中心に、家業の手伝いを行い、年数が経つにつれてそれがライフスタイルとなっていました。そのような生活の中で、次第に家業に対する責任感が湧き、家族と今後について話し合った結果、仕事を辞めて本格的な就農を決意しました。

【現在】 仕事の大まかな流れは解っているつもりでしたが、りんご農家の仕事は栽培のみならず多岐にわたり、建設、機械、農業等の技術や知識が思っていたよりも必要で最初は苦労しました。しかし、漠然と手伝いしていた時とは違い、毎日の仕事にやりがいを感じています。また、園地を取得し、シャインマスカットの栽培を始めたことで、農業経営の多角化も視野に入れています。

【夢・展望】 唐竹地区は、青森県りんご立木品評会の個人、団体において幾度となく農林水産大臣賞受賞や、上位入賞を果たしている。りんご栽培技術の水準が高い地区です。就農したての身でおこがましいですが、この地区のりんご生産者の一員として、更なる栽培技術向上に励み、「さすが唐竹のりんご」と言われるくらい、このりんご生産を目標にしていきたい。また、シャインマスカットの栽培においても、初収穫に向けての生育管理を怠らず、将来的な規模拡大を念頭に、まい進していきます。

【座右の銘】 「私は完璧ではない。でも、毎日向上することに集中するよう努力している」 バスケボールの最高峰リーグNBAのスタープレイヤーであったアレン・アイバソンの言葉です。学生時代はバスケボールに青春を費やし、社会人になっても競技を続けていた自分にとっての憧れの選手であり、そのプレーや生き様に感銘を受けました。自分におこがましいが、自己成長のために努力し続ける重要性を教えてくれたこの言葉のように、仕事や自分自身の「質」をより高めていくために、日々研鑽を重ねて励んでいます。



「さちのか」の収穫に励む 木村組合長

八戸市市川地区はいちご生産が盛んで、青森県最大の産地として知られています。同地区の八戸毎生産組合の木村武美組合長のハウスでは現在、果



## 八戸いちご

形が大きい円錐形で、鮮やかな赤色が特徴の「さちのか」の収穫がピークを迎えています。木村組合長は今シーズンのいちごについて「今年1月末から2月上旬の寒波の影響で花がダメージを受け、春いちごの出始めが平年に比べて2週間ほど遅れました。その状態を挽回して現在の最盛期に至っています。組合では『さちのか』を中心として、『さちのか』『紅ほっぺ』を作付けしており、各品種とも美味しく仕上がっています」と話し、いちご栽培の

今後について「生産コストの上昇で厳しい経営が続いています。また、組合員数の減少から、後継者不足も実感しています。地元いちご栽培を絶やさないためにも、培ってきた栽培技術を後進に惜しみなく伝えていくとともに、組合がこだわってきた『樹上完熟で食味が良いいちご』を売りに、消費拡大へ努めていきます」と展望し、これからの取り組みへ意気込んでいました。

同組合のいちごの収穫は6月頃まで行われ、弘果をはじめ県内の青果市場へ出荷されます。

弘果スキーレーシングクラブ後援会では4月25日、同クラブ所属の土屋正恵、横濱汐莉両選手の活躍を讃える成績報告会を、弘前市



シーズン成績報告会開催



新加入の小林選手(写真中央)と土屋選手(写真右)を囲む横濱選手(写真左)

のフオルトーナにおいて開催されました。成績報告会には、弘果社員や後援会関係者ら約130名が出席、各大会での優勝や上位入賞等、輝かしい戦績が紹介されました。土屋選手は

「競技に専念できる環境をつくってくださり、感謝しています。次のシーズンに向けての取り組みはもう始まっていますが、チームで励まし合いながら頑張っていきたいと思います」と話し、横濱選手は「慣れない仕事と競技の両立がうまく感じる時もありましたが、周りの方々に助けられながら今シーズンを戦いました。これから、弘果職員としての自覚を持ち、仕事も競技も精一杯取り組んでいきます」と意気込みました。

また、同クラブには4月から小林萌子(もえこ)選手が新加入しました。小林選手は新潟県出身で、日本大学卒業後に弘果へ入社しました。学生時代はクラシカル競技で大学日本一に輝く等の好成績を上げており、今後の活躍が期待されます。また、所属選手が3人となったことで、クラブとして3人一組のリーグ出場が可能となり、優勝を目指して来シーズンに向けて始動します。

## アカツキで高品質りんご生産を手助け



アカツキの効果を実感したと話す 奥瀬さん(写真左)と八木橋さん(写真右)

弘果物流では、肥料や資材等、営農に必要なアイテムを多数販売しています。その販売する商品の中から、特に力をいれて販売している肥料「アカツキ」は、局所施肥により、徒長防止、着色及び食味の向上等の効果が期待できます。



(株)弘果物流 0172-27-1800

弘果物流の担当者は「アカツキ」は吸収の良いリン酸系の肥料で、天候には左右されませんが、その中でも、着色、食味向上の手助けをしてくれます。当社イチオシ商品ですので、お問い合わせいただき、高品質なりんご生産にお役立てください」と話していました。

弘果物流の担当者は「アカツキ」は吸収の良いリン酸系の肥料で、天候には左右されませんが、その中でも、着色、食味向上の手助けをしてくれます。当社イチオシ商品ですので、お問い合わせいただき、高品質なりんご生産にお役立てください」と話していました。

## りんご高密度栽培モデル園開設



大規模なりんご高密度栽培モデル園

弘果総合研究開発は今年度、りんご栽培において作業の効率化、早期多収が期待されている「りんご高密度栽培」の経営モデル園を弘前市小沢地区に開設しました。同園は、弘果総研が管理する研修園地1号と、新規就農者に貸与または譲渡予定の4号の計5号で構成されます。研修園地では今年度分として、約60アにふじ、シナノゴールド、つがる等、11品種1800本を定植し、隣接するハウス4棟ではシャインマスカット等の栽培も行います。同社では2019年から、津軽地方の9園地でりんご高密度栽培の実証実験を行ってきました。そして、これまでの試験園地での成果を踏まえ、新規就農者を育成する経営モデル園の開設に着手しました。計画では4年間で研修生計8名を受け入れ、定植、栽培管理、収穫等2年間の研修を経て、終了後は、同社が経営指導や国の補助金導入等のアドバイスをを行い、独立就農を全面的にサポートします。

モデル園の栽培スタートとなった4月21日、同社社員6名でフェザー苗木の定植作業を行いました。弘果総研はこれらの取り組みについて「高密度栽培は、新規就農者にも取り組みやすく、労働生産性の向上が期待でき、ひいては『スマート農業』の可能性を拓ける栽培方法です。丸葉栽培の高い技術力、慣行のわい化栽培とともに、高密度栽培を加えて、りんご産業界全体の底上げを図っていききたい」と話していました。



Hiroka R&D Inc. 弘果総合研究開発(株) 弘果総研 QR

弘果総研

## 野菜・果実トレーサビリティ

令和5年度野菜・果実トレーサビリティの受付が始まりました。消費者へ「安心・安全」を届けるために皆様の加入をお願いいたします。

【場所】 弘果トレーサビリティセンター(第2卸売場内)  
【時間】 午前8時～午後5時  
【休日】 市場休市日(弘果カレンダー参照)  
【費用】 3000円(令和6年3月31日まで有効)  
【対象品目】 野菜と果実(りんご、オリジナルメロン、天然の山菜を除く)

「つがりあん」は、登録された内容に、登録費用、出荷登録番号、※初めて登録される方は印鑑もご持参下さい。詳しくは弘果総合研究開発(電話0172-29-4184)、またはそ菜部・果実部(電話0172-27-5511)まで。